

2026年度 宝塚大学 看護学部
総合型選抜（知識技能評価）、総合学科卒業生選抜、社会人選抜

基礎適性検査：英語
出題の意図

1

●短い対話文の空所補充問題。日常的なトピックの対話文を通じて、基礎的な英語力および思考力を問う。対話文に含まれる基礎的な会話表現を把握した上で、二者の発言内容と最も整合性が取れる応答・質問などを選別できるかという能力を試す。発話者の意図や、会話が行われている背景・状況を把握する能力に加え、文脈を把握・推察する論理的な思考力も求められる。

21 Aが職員室を訪れている目的を捉えつつ、空所の直後にある No thanks. という A の応答内容から、Bが空所に入る発言でAに対して何かを申し出ていると推察する。

22 空所前後の発言から、Aが最初の質問で挙げている人物がアメリカ大統領ではないことを把握した上で、対話の流れに合う発言を特定する。

23 イベントのチケットを購入したと述べるBに対し、Aはまだ購入していないという状況。チケットの残数が多くないと伝えるBの空所後の発言を、自然に導く発言を選別する。

24 話題のレストランにBは行ったことがないという背景を把握する。Bが2回目の発言で、レストランは観光客には人気だが、Bを含む地元の人々は関心が低いことを伝えている点から正解を導く。

25 Bの最後の発言から、カフェの店内で行われている対話だと分かる。空所前後のやり取りから、話に上がっている傘の所有者がAでもBでもないことを掴む。

26 Aが花に水やりを十分にしている、かつ日光にもしっかり当てていることを聞いたBが、2回目の発言で風の重要性について知らせている点がポイント。相手に提案する表現（Why don't you ~?）に続く空所には、風通しを良くするような提案内容が入ると推察し、適切なものを選択する。

2

●長い対話文の空所補充問題。対話の場面は、Emily が英語の俳句を完成させるのを Taiga が手伝っているというもの。最終的に Mastuo という 3 人目の人物の一言によって俳句が完成するという流れ。基礎的な会話表現だけでなく、発話者たちの状況・対話の流れを読み取った上で、文脈に合う選択肢を選ぶという総合的な対話把握能力を問う。本文中の代名詞や指示語などが指すものを正確に把握することに加え、選択肢を空所に入れたときに、選択肢内の代名詞や指示語などが指し得るものを確認しながら適切な発話を選別していく論理的な思考力も重要となる。

27 考案中の俳句について、良い結びの句が思いつかないと述べる Emily に対し、見てみようとして Taiga が申し出ている状況を把握する。申し出に対し Emily は謝意を述べ、作成中の俳句を披露していることから正解を導く。

28 Emily が自作の俳句を披露したのに対し、Taiga が How about ~? を用いて続きの句を提案していることから考える。Emily が最初の発話で「良い結びが思い付かない」と述べているのを、空所で別の言い方にて改めて伝えていると推察する。

29 5つの単語で結びの句を提案した Taiga に対し、Emily は空所の前で、5音節でなければならないと説明している。空所の直後では代名詞 It を用いて「それは1語だが、2音節だ」と述べている。これらから、Emily は空所の発言で例を挙げているのだと読み取り、適切な選択肢を選ぶ。syllable「音節」は語注にあるが、音節の数え方を理解している必要がある。

30 助力を求められた Matsuo が“Refrigerator.”とのみ口にして立ち去る場面は、空所直前の Emily の反応と同様に、受験者の方々も文脈の把握にとまどったと思われる。空所後の Emily のように、Matsuo による提案が結びの句として完璧だと理解できれば対話全体が腑に落ちるはずである。空所の段階では、Emily はまだ理解できていないという状況を読み取れるかどうかポイントとなる。

2026年度 宝塚大学 看護学部

学校推薦型選抜（知識技能評価）、学校推薦型選抜（指定校）

基礎適性検査：英語

出題の意図

1

●短い対話文の空所補充問題。日常的なトピックの対話文を通じて、基礎的な英語力および思考力を問う。対話文に含まれる基礎的な会話表現を把握した上で、二者の発言内容と最も整合性が取れる応答・質問などを選別できるかという能力を試す。発話者の意図や、会話が行われている背景・状況を把握する能力に加え、文脈を把握・推察する論理的な思考力も求められる。

21 Bの最初の発話から、親子間の対話であることを把握する。Bが2回目の発言で「忙し過ぎた」と、テストの点数が芳しくなかった理由を述べていることから、理由を導く Why「なぜ」を用いて質問したのだと考える。

22 大きな犬を3匹散歩させている女性についての対話。Aが2回目の発言で仮定法を用いていることから、犬が実際に走り出すことはなさそうであることを押さえたい。また、次のBの発話から、女性は犬を静かに散歩させていることが確認できる。

23 カフェで店員に注文をする場面。「紅茶にレモンまたは砂糖を付けるか」という選択疑問文への適切な応答内容を選ぶ。店員であるAが最後の発言でBの注文内容を復唱している点から、整合性の取れる選択肢を選ぶ。

24 駅のホームでの対話。ホームへと近づく電車の写真を撮ろうとしているBに対し、Aが危険だと伝えている。Aの空所の発話の後でBがI will.と応答していることから、空所には安全を促す忠告が入ると推察する。仮に「（電車などが駅に）入る」を表す pull in や、「駅員全般」を表す them が把握できなくても、Aが危険な行動を止めようとしていることを掴めれば解答できるはず。

25 スピーキングのスキルを伸ばすコツとして、話している間に微笑するよう助言するBに対し、Aは懐疑的な反応を示しているという状況。Aの懐疑的な反応に対し、Bは自分を信頼するよう伝えている流れに沿うものを選別する。

26 カラスについての対話。カラスが嫌いだと述べるBが、Aに対して2回目の発話でI disagree.と反対意見を述べている流れを押さえる。空所前後にあるゴミについての2人の発言内容を整理して把握することが求められる。

●長い対話文の空所補充問題。対話の場面は、セーリングのインストラクターである Miles が、出発前に参加者の Hana の持ち物について確認しているというもの。1点ずつ確認をしていき、最終的に持ち物をボートに運び込もうとするところまで対話が続いている。基礎的な会話表現だけでなく、発話者たちの状況・対話の流れを読み取った上で、文脈に合う選択肢を選ぶという総合的な対話把握能力を問う。本文中の代名詞や指示語などが指すものを正確に把握することに加え、選択肢を空所に入れたときに、選択肢内の代名詞や指示語などが指し得るものを確認しながら適切な発話を選別していく論理的な思考力も重要となる。

27 軽く自己紹介をした Hana が、空所に続く発言で、これからするセーリングについて期待感を示していることから考える。空所に続く発言を導くような、前向きな発言が入ると推察する。

28 チェックリストに沿って持ち物を確認するという流れの中で、インストラクターの空所の発言に対し、Hana が it を用いてそれを持っていると答えている。さらに、レースの途中で change が必要になったときのための予備も持参している、と述べていることから考える。正解選択肢を入れると、it が jacket を指し、change が「着替え」を意味することになり、流れに沿うと気付けるかがポイント。

29 最低でも 10 メートルのロープが必要であると伝える Miles に対し、Hana は空所の発言に続けて、30 メートル持参したと答えている。正解選択肢の more than enough 「十二分に」がこの流れに合うと判断できる。

30 新規の受講者が思い付かない持ち物であるホイッスルを確認したインストラクターが、それをきちんと持参して来た Hana に対しどう述べたか考える。一通り持ち物の確認し終えたインストラクターが、空所の発言に続けて出発を示唆する発話をしていることから、選択肢の整合性が確認できる。